

「ぎふハイスクールサット(GHS)プロジェクト」の 開始に伴うキックオフイベントを開催

【概要】

宇宙産業を岐阜県の重要な成長産業として位置づけ、将来の「中核産業」として育成・支援するため、令和3年度に、岐阜大学と岐阜県等が協働して「ぎふ宇宙プロジェクト研究会（座長：吉田岐阜大学長）」を立ち上げました。このたび、本研究会の取り組みの一環として、岐阜大学が行う人材育成事業の一つである「ぎふハイスクールサット（GHS）プロジェクト」（高大連携事業）の開始に伴い、キックオフイベントを令和4年4月23日（土）に岐阜大学で開催しました。

「ぎふハイスクールサット（GHS）プロジェクト」とは、岐阜大学（地域協学センター・工学部）が例年開催する高大連携事業「宇宙工学講座」「缶サット甲子園」の取り組みを行う中で、岐阜大学が中心となって推進する人材育成事業の一つで、県内高校生を中心とした小型人工衛星の設計・製作・打上げ・運用を一貫して行う実践的な教育プログラムです。

当日は、プロジェクトに参加する県内工業高校4校（岐阜工業高等学校、可児工業高等学校、大垣工業高等学校、岐南工業高等学校）の教員・生徒、県内航空宇宙関連企業等約70名が参加しました。

始めに、吉田岐阜大学長による主催者挨拶、崎浦岐阜県商工労働部長及び堀岐阜県教育長による挨拶があり、その後、研究会・GHSプロジェクトの趣旨説明、はやぶさ2プロジェクトマネージャーのJAXA宇宙科学研究所津田教授による講演および高校生へのメッセージ、KOSEN-1衛星プロジェクトマネージャーの高知高専今井客員教授による講演等が実施されました。また、プロジェクトに参加する高校生が高校混在のチームを作り、今後のプロジェクト実施に向けた提案等を議論するグループワーク・成果発表、それに対する講評（森脇前岐阜大学長、村井工学部長）も行われました。

生徒たちは、今後、岐阜大学の教授及び学生からのアドバイスや県内の航空関連企業などの協力を得ながら小型の人工衛星の製作を進め、2年半後の打ち上げを目指します。



吉田岐阜大学長による開会挨拶



記念写真